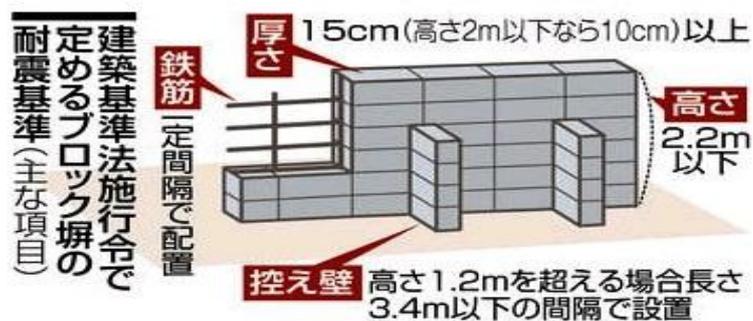


町内ブロック塀等実態調査の報告

①経緯

平成 30 年 6 月に発生した大阪府北部地震（最大震度 6）で、プール沿いのブロック塀倒壊による死亡事故が発生した。このブロック塀は、元々あった高さ 1.9m の壁の上に、目隠し目的でブロックが 8 段分、高さにして 1.6m が積み上げられたもの。建築基準法施行令で定められたブロック塀の高さ基準 2.2m 以内を超えており、高さ 1.2m 以上のブロック塀に必要な控え壁もなかった。（下図参照）

この事故を受け、国は全国の小学校・中学校に対して敷地内のブロック塀を点検するように要請をし、各自治体においても公共施設等に設置されたブロック塀の調査を行った。宮代町においても、関係各課で公共施設や町内におけるブロック塀の危険箇所について実態調査をした。



6 月 20 日/中日新聞

②実態調査

【教育推進課】

- ・施設管理者として小中学校のブロック塀等の緊急点検を実施。
- ・建築基準法施行令で定める基準を満たさないものや、劣化や損傷について点検をした。

点検した結果、一部の学校で高さが 1.2m を超え、3.4m 以下の間隔で控え壁を設置していないものがあった。

⇒対策

- ・緊急工事を実施して、8 月 9 日（木）までに不適格なブロック塀を全て解消した。

【まちづくり建設課】

- ・ 学園台宮前児童公園入口に高さ 1.35m、長さ 2.7mの門柱を確認
- ・ 学園台身代児童公園入口に高さ 1.95m、長さ 2.8mと 2.3mの門柱を確認
- ・ 第 2 浄水場に高さ 1.65m、長さ 56mで、控え壁の間隔が 3.6mのブロック塀を確認

⇒対策

- ・ 宮前児童公園と身代児童公園で確認された門柱は、上部を撤去して高さを 1.2mにした。
- ・ 第 2 浄水場のブロック塀は控え壁の間隔を 3.4mにした。

■まちづくり建設課では、平成 21 年度宮代町地域防災計画に掲げられた施策により「町内ブロック塀実態調査」を実施。

町内ブロック塀実態調査について

○調査対象エリア

緊急輸送道路等（県道 3 路線、町道 16 路線、総延長約 7.5Km）に面した物件。

○調査状況

■平成 21 年度 実態調査 190 件

高さ	基準内 2.2m以下	基準外 2.2m超
	183 件 (96.3%)	7 件 (3.7%)

控壁	不要	間隔 3.4m	間隔 3.4m超	未設置	不明	計	
	19 件	17 件	47 件	105 件	2 件		190 件
	10%	8.9%	24.7%	55.3%	1.1%		

亀裂・破損・傾斜など 72 件 (37.9%)

■平成 25 年度 追跡調査 53 件のうち新設 7 件 (46 件)

高さ	基準内 2.2m以下	基準外 2.2m超	その他
	43 件 (93.5%)	2 件 (4.3%)	1 件 (2.2%)

控壁	有り	無し	不明	その他	計	
	21 件	21 件	3 件	1 件		46 件
	45.6%	45.6%	6.6%	2.2%		

亀裂・破損・傾斜など 37 件 (80.4%)

その他＝自然石

○調査状況

■平成 30 年度 追跡調査 46 件のうち新設 1 件（45 件）

高さ	基準内 2.2m以下	基準外 2.2m超	その他
	43 件 (95.6%)	1 件 (2.2%)	1 件 (2.2%)

控壁	有り	無し	不明	その他	計
	21 件	21 件	2 件	1 件	45 件
	46.7%	46.7%	4.4%	2.2%	

亀裂・破損・傾斜など 42 件（93%）

その他＝自然石

○結果

ブロック塀の高さについて、建築基準法施行令では 2.2m以下と定められていること、平成 30 年度の追跡調査では調査物件 45 件中 95.6%の 43 件が基準内である。一方、控え壁については有り 21 件、無し 21 件である。

亀裂・破損・傾斜などブロック塀の状況調査については、幅・深さ・角度など一定の基準を定めて調査していないため、状況の比較は難しい。

【町民生活課】

- ・職員による防犯パトロールの際に、ブロック塀の目視調査を実施。
- ・パトロールは週 2 回。町内を 4 ヶ所に分けて、それぞれの地区を 2 回ずつ周る。
- ・町内で危険な箇所を抽出し記録する。